

第23回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成23年 2月

応募者名: 岩手県沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

事業の名称: 都市計画道路宮古港線

栄町工区街路事業

実施都市名: 岩手県宮古市

事業目的

都市計画道路宮古港線は、宮古駅前と市街地西部を連結する幹線道路であり、本工区は道路拡幅による交通渋滞の解消、及び歩道整備による通勤・通学等歩行者の安全確保を目的とし、郵便局や総合商業施設が隣接する中心市街地の活性化を図るとともに電線類地中化により都市景観の向上等を行なうものである。

事業概要

事業名称: 栄町工区街路事業

路線名: 都市計画道路 宮古港線

事業箇所: 岩手県宮古市

事業延長: $L=449\text{m}$

幅員: $W=16\text{m}$ (車道 $3\text{m} \times 2$ 、歩道 $3.5\text{m} \times 2$)

事業費: $C=2,786$ 百万円

事業実施期間: 平成7年～平成21年

本事業は、宮古駅前と市街地西側の地域を連結する幹線道路を拡幅整備するものである。

本区間の車道及び歩道拡幅整備、橋梁の架替えを実施し、併せて電線類の地中化を行い、都市景観の向上及び安全・安心で快適な道路空間を確保する。

宮古港線の整備効果アピール資料

「整備効果」

- ・道路幅員の拡幅及び右左折レーンの設置により、市内の交通渋滞が解消された。
- ・歩道が広くなり、歩行者及び自転車の安全が確保された。
- ・車道幅員が広くなり、除雪後における車両のすれ違いが容易になり、かつ消防署から市西部への緊急車両等の走行性が高まった。
- ・道路照明柱に信号機、交通標識を共架することにより、電線共同溝設置と併せ、柱類の乱立を解消した。
- ・渋滞解消により、宮古～盛岡間急行バスの宮古市内における定時性が確保された。
- ・透水性のブロックを採用することにより、降雨時における快適な歩行性を確保した。
- ・電線類の地中化により、都市空間が広がり、都市景観が向上した。

「その他の事業効果」

- ・「一石橋」架替えにより、従前から地元住民により行なわれていた山口川の河川環境愛護活動と相乗して、都市河川における河川環境空間の創出・改善が図られた。(山口川は鮭の遡上が見られる。)



事業前写真

平成13年7月撮影



事業前写真1

平成13年7月撮影



事業前写真2

平成13年7月撮影



事業前写真3

事業後写真

平成22年1月撮影



事業後写真1

平成23年2月撮影



事業後写真2

平成22年1月撮影



事業後写真3